

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公表番号】特表 2018-534909 (P2018-534909A)  
 【公表日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-046  
 【出願番号】特願 2018-511282 (P2018-511282)  
 【国際特許分類】

A 2 4 F 47/00 (2006.01)

A 6 1 M 15/06 (2006.01)

【F I】

A 2 4 F 47/00

A 6 1 M 15/06 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 30 日 (2019.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 使用者が交換可能な e リキッドカートリッジ、

(b) 前記カートリッジから e リキッドを引出し、霧化器にその e リキッドをポンピングするよう構成される e リキッド流体移送システム  
 を含む、

前記カートリッジが、前記カートリッジが真正であるかどうかを検証するために前記システムによって読取られ、前記検証が良好であれば、前記システムが、e リキッドを前記流体移送システムによって前記 e リキッドカートリッジから引出すことを可能にするセキュリティまたは認証子チップを含む、  
 電子たばこヴェポライザーシステム。

【請求項 2】

前記カートリッジが、それに含まれる前記 e リキッドに関するデータ及び / または前記カートリッジに関する固有の識別情報を記憶するためのメモリを含む、請求項 1 に記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

【請求項 3】

前記メモリが、前記セキュリティまたは認証子チップの一部である、請求項 2 に記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

【請求項 4】

前記メモリが、前記 e リキッドのフレーバー、ニコチン強度、製造バッチ番号、製造の日付、充填の日付のうちの 1 つ以上など、前記カートリッジの前記 e リキッドを定めるデータを記憶及び出力する、請求項 2 又は 3 に記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

【請求項 5】

前記メモリが、税金または納税済みのデータを定めるデータを記憶及び出力する、請求項 2 ~ 4 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

【請求項 6】

前記メモリが、前記カートリッジの e リキッドの量を定めるデータを記憶及び出力する、請求項 2 ~ 5 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 7】

前記カートリッジが再充填不可能でタンパーエビデント性であり、貯蔵及び移送中に e リキッドの安定性を保持する気密シールを含む、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 8】

前記カートリッジが、e リキッドの容量において 10 mL 以下である、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 9】

前記カートリッジが 2 つの開口部を含み、

前記第 1 の開口部が、ファイリングラインの前記カートリッジを充填するために使用され、次いで栓またはプラグで覆われ、前記第 2 の開口部が、前記カートリッジから e リキッドを引出す針またはステムによって貫通または穿刺されるように設計された隔壁によって封止され、前記針またはステムは前記流体移送システムに接続されている、請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 10】

前記システム内のプロセッサが、リモートサーバからデータを受信し、前記カートリッジを使用可能にするか、それを使用できないようにする、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 11】

前記システム内のプロセッサは、データを前記カートリッジの前記メモリに書出して戻し、前記メモリに書出して戻された前記データは、前記流体移送システムからのデータまたは前記流体移送システムと関連するデータ、例えばポンピングサイクル数から算出されるものとして、前記カートリッジに残っている、または前記カートリッジによって提供されている前記 e リキッドの量の推定値または測定値を含む、請求項 2 ～ 10 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 12】

前記システム内のプロセッサは、前記カートリッジの前記固有の識別情報によって定義されるように、各特定のカートリッジに残っている、または各特定のカートリッジによって提供されている前記 e リキッドの量をシステムメモリに記憶する、請求項 2 ～ 11 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 13】

前記システム内の前記プロセッサが、前記システムメモリまたはカートリッジメモリに記憶されている前記データを使用して判定された、前記カートリッジに残っている、または前記カートリッジによって提供されている前記 e リキッドの量が、そのカートリッジの許容される e リキッド容量を超える場合に特定のカートリッジを使用するのを妨げて、前記カートリッジの認定されていない再充填を無益にする、請求項 12 に記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 14】

前記カートリッジが、以下の

(a) 電子式ヴェポライザー用の携帯型の個人的な貯蔵及びキャリングケースであって、前記ケース内に配置される前記流体移送システムと係合するようにさらに構成される前記貯蔵及びキャリングケース、または

(b) 電子式ヴェポライザーであって、前記ヴェポライザー内に配置される前記流体移送システムと係合するようにさらに構成されている前記電子式ヴェポライザー

の各々またはいずれかに挿入または取付けられるように構成されている、請求項 1 から 13 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

## 【請求項 15】

前記流体移送システムが、電子式ポンプ、または蠕動ポンプであり、それぞれの場合において、前記 e リキッドを、e リキッド管を通して前記霧化器にポンピングする、請求項 1 ～ 14 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

**【請求項 16】**

前記カートリッジが前記霧化器とは別個に使用者が交換可能である、請求項 1 ～ 15 のいずれかに記載の電子たばこヴェポライザーシステム。

**【請求項 17】**

前記カートリッジから e リキッドを引出し、その e リキッドを霧化器にポンピングするように構成された e リキッド流体移送システムを含む電子たばこヴェポライザーシステム用の使用者が交換可能な e リキッドカートリッジであって、

前記カートリッジが、前記カートリッジが真正であるかどうかを検証するために前記システムによって読取られ、前記検証が良好であれば、前記システムが、e リキッドを前記流体移送システムによって前記 e リキッドカートリッジから引出すことを可能にするセキュリティまたは認証子チップを含む、

前記使用者が交換可能な e リキッドカートリッジ。

**【請求項 18】**

前記 e リキッドカートリッジが、請求項 1 ～ 16 のいずれかに定義されている電子たばこヴェポライザーシステム用の e リキッドを提供するように構成される、請求項 17 に記載の使用者が交換可能な e リキッドカートリッジ。